

## 1. 構想のコンセプト

### 20万人規模のスーパーシティの実現

住民主体の地域づくりが進んでいる人口約1100人の阿東地域地福地区というスモールケースで地域住民と一体となり、人口減少時代においても持続可能なスーパーシティモデルを構築し、山口都市核、更には、小郡都市核を含む全域に横展開を図ることで、20万人規模のスーパーシティの実現を目指す。

step1で実施する阿東地域地福地区は、豊かな自然に恵まれ、県内でも有数の稲作地帯のひとつであり、伝統行事「トイトイ」をはじめ、固有の伝統文化や歴史などの地域資源を有している。一方で、人口は約1,100人、世帯数612世帯、高齢化58.5%と人口減少、少子高齢化が進展する中、地福地域づくり協議会やNPO法人ほほえみの郷トイトイが中心となって、地域住民が主体となった地域課題の解決に取り組みが進んでいる。



### 段階的に展開する山口モデルのスーパーシティ

#### 【阿東地域地福地区】

面積	52.85km <sup>2</sup>
人口	1,102人
世帯数	612世帯
高齢化率	58.5%

(令和4年4月1日現在)

## 2. 山口モデルスーパーシティ構想の概要

### 目指す姿

地域住民が中心に、イマとミライの住民が笑顔でいきいきと暮らし続ける地福地区

#### 視点1

高齢者が安心して暮らせる地域

超高齢化が進展する中山間地域において、高齢者が、100歳まで、住んでいる場所で安心して暮らし続けられる地域づくりを推進します。



#### 視点2

若者がチャレンジできる地域

若者の流出が大きく進む中山間地域においても、若者がチャレンジができるように、中山間らしい、就業の場や学び場、子育てしやすい環境づくりを行うことで、若者の定着や流入を促進していきます。



#### 視点3

豊かな自然とデジタルが融合する地域

阿東地域地福地区の有する豊かな自然の中で、高齢者でも、気軽にデジタル技術に親しみながら、生活の質の向上が図られる環境づくりを行い、豊かな自然とデジタルが融合する新たなモデルとなる中山間地域づくりを推進します。



### 先端的サービス1

データ連携

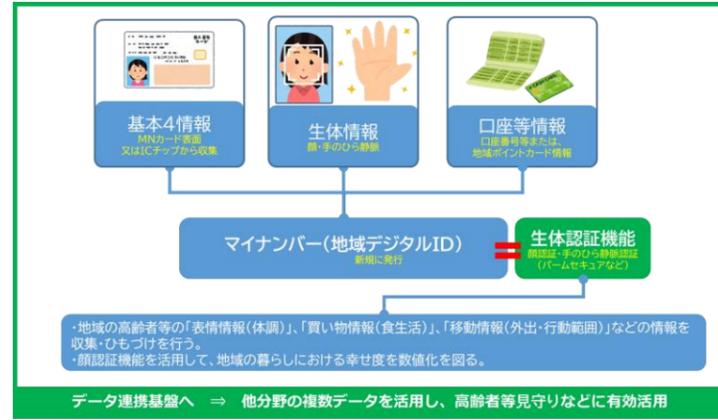
- 先端的サービス2 医療・介護
- 先端的サービス3 移動・物流
- 先端的サービス4 仕事
- 先端的サービス5 教育
- 先端的サービス6 支払
- 先端的サービス7 防犯・防災

地域住民が将来にわたって、安心して笑顔で幸せに暮らし続けられる地域を実現

## 3. 先端的サービスの概要

### 【先端的サービス1】生体認証を活用したマイナンバーの多目的利用

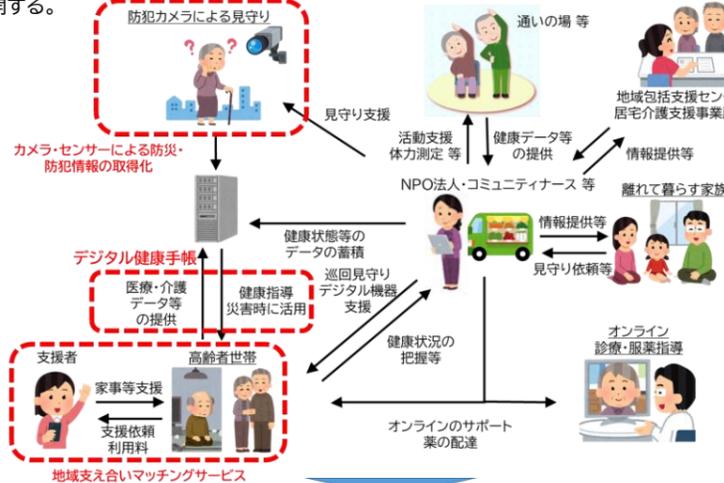
「マイナンバー(地域デジタルID)」をキーとして、基本4情報や顔情報等を紐づけることで、確実に正確に個人を特定し、様々な分野のデータと連携させることで、効率的かつ迅速に課題解決等を図る。



あらゆる世代が手ぶらで、気軽に様々なサービスを受けられる環境の構築

### 【先端的サービス2】デジタル化による中山間型地域包括支援体制の構築

本人の医療、介護等に関する情報を一元管理するデジタル健康手帳を導入するとともに、コミュニティナースを配置し、デジタル技術を活用して、地域の実情に応じた制度の隙間を埋める活動を展開する。



地域での支えあいとデジタルが融合した、中山間型地域包括支援体制の構築

### 【先端的サービス3】中山間地域内限定の移動手段の確保

高齢者等の地域内での身近な移動手段の確保として、規制緩和を活用し、地元唯一のタクシー事業者の運転手不足解消に向けた地域内限定免許の創設や運転免許なく地域内を乗れる地域限定車両の導入を図る。

#### ①地域内限定免許の創設

- タクシー事業者が自社の乗務員のみでは対応できない日や時間帯を補完するための仕組みづくりを行う。
- 通常のタクシー事業者は、第二種運転免許を保有している者によるが、地域住民(第二種運転免許非保有者)が運転講習を受講したうえで、地域内に限定(自宅～地域内の主要施設の間)した移送については、特別に免許を付与されたものとして移送を実施する。

#### ②地域内限定車両による移動

- 【地域内限定車両の運転】
  - 地域外への運転が不安で免許返納された方、免許を保有していない若者等が運転講習を受講したうえで、地域内の移動に限定して超小型車両の運転を可能とする。
  - 使用する車両については、2人乗りの超小型車両とし、自動的時速40kmの速度制限がかかるとともに、GPSを搭載する中で、地福地区外を超えると警告がなるなど、運転可能地区を限定できる仕組みとする。
  - 将来的には、こうした超小型車両の自動運転の導入も視野にいて、地域内での普及を図る。

#### 【移動データの取得】

- GPS(ログ)等により位置情報を把握することで地域内の移動データを取得し、高齢者の移動範囲等から地域の保健情報の補足を始め、車両利用によるモビリティマネジメントの実施(外出頻度、健康状態等の変容を把握)、地域内の乗合サービスの展開を検討、災害時における位置情報を利用した避難誘導、道路状況の把握を行う。

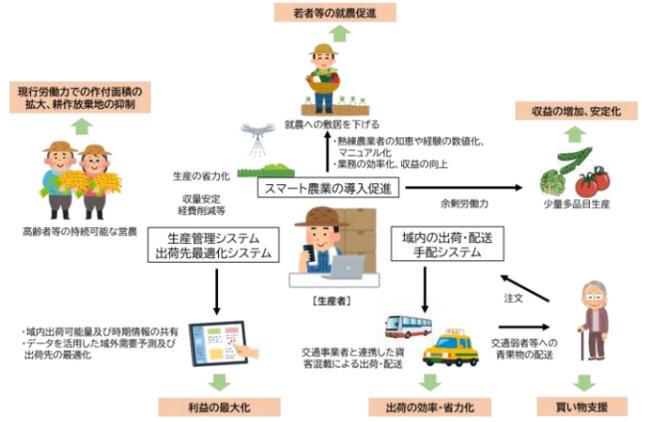


【地域限定車両イメージ】

ドア・ツー・ドアにより地域内は自由に移動できる環境を構築

### 【先端的サービス4】地域資源を活用した新たな雇用の創出や地場産業の活性化

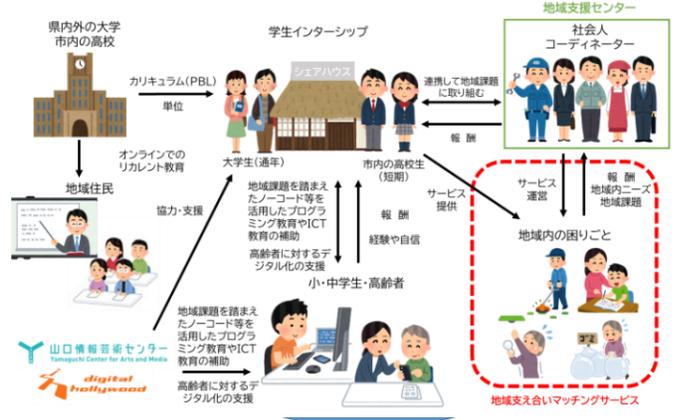
高齢化が進む小規模農家等において、持続的に営農できる環境づくりに向け、スマート農業の導入を促進することで、業務の効率化、収益向上等を図り、地場産業の活性化や若者の就業促進につなげる。



地域資源を活用した地場産業の活性化及び新たな雇用の創出

### 【先端的サービス5】地域の未来や自分の人生を変える究極のインターンシップ

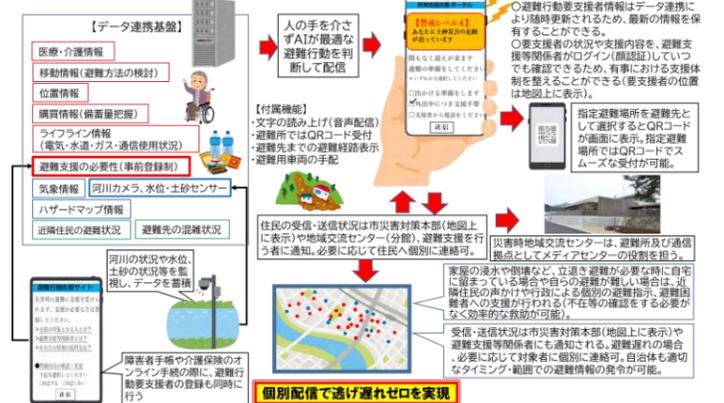
県内外の大学等と連携して、地福地域をPBLのフィールドとして活用し、大学生等に通年で居住してもらいながら、大学の単位を修得するインターンシップを行い、地域住民や大学生と一体となって地域課題の解決に取り組むなど、地域課題解決型のキャリア教育を展開する。



地域に新たな人の流れや多世代の交流を生み出す仕組みの構築

### 【先端的サービス6】誰一人取り残さない避難支援体制の構築

避難支援に係る個人データや災害情報等を、データ連携基盤からAIが最適な避難行動を判断し、個人向けの避難情報を携帯端末(双方向通信可)へ自動配信する仕組みを構築する。



デジタル化を通じた災害時における「逃げ遅れ0」の実現

### 【先端的サービス7】お金とデータの地域内循環

金融機関に行かずに支払いを可能とするとともに、地域外へのお金の流出を防ぎ地域内経済の活性化を図るため、「デジタル地域ウォレット」システムを構築し、キャッシュレス支払環境を整備する。

地域経済が潤い、あらゆる世代が安心して地域内で消費できる仕組みの構築